平成２８年８月１８日

平成２８年度　第１回　岡山市国民健康保険運営協議会議事録

日　時：平成２８年８月１８日（木）午後２時　～　午後４時
場　所：岡山市保健福祉会館９階機能回復訓練室
出席者：別紙のとおり（委員１９名出席）
次　第：別紙のとおり
議　案：(1) 平成２７年度国民健康保険事業について
　　(2) 岡山市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について
報告案件：
　　(1) 収納率向上・医療費適正化対策事業の実績について
　　(2) 国保財政運営の都道府県化について
その他：
傍聴者：５名

【議事結果】
◎議案について説明後、質疑応答。
◎(1)～(2)号までの各議案について原案どおり承認。
◎報告案件について報告。

【議案に関する質疑概要】

『(1) 平成２７年度国民健康保険事業について』

○内 田 委 員：収納率が上がっていることは大変評価できるが、政令市の中では１６位と低いことについて、何か市民性があるのか。名古屋市は高い数字となっているが、何か協力できることはあるのか。

○長田料金課長：収納率については、平成２１年度から毎年上がってきているが政令市の中では１６位と低い水準になっている。名古屋市は、初期対応が特に充実しており、口座振替率が約７６％である。岡山市の口座振替率は４８から４９％の中で推移している。
やはり初期対応が大事であるため、岡山市でも窓口での新規加入者への口座振替の勧奨や、昨年１０月から加入後６か月の方で口座振替未登録の方への電話勧奨、１年未満の滞納者への電話納付勧奨を行っている。今後も特に初期対応のところを頑張っていきたい。

○則 武 委 員：岡山市は１年間で口座振替は増えてきたのか。

○長田料金課長：口座振替率は平成２６年度が４７．７３％、昨年度が４７．５６％と若干下がっているが、平成２５年度の４８．６１％からいうと下がり幅は減っている。窓口での勧奨は新規で３００件程度増えており、電話勧奨についても２３６件増えている。しかし、年齢が高いほど口座振替率が高い状況があり、後期高齢へ移行し喪失をして口座振替でなくなり、若干下がる結果となった。今後は口座振替の勧奨については、工夫をしてやっていきたい。

○則 武 委 員：所得種別保険料収納状況は、給与所得者の収納率が現在は低くなっている。給与所得をされているということは、逆に口座振替にしやすいと思うが、ここをしっかり口座振替にしていただけるようにしていかないと、収納率向上は成し得ていかない。名古屋市が高いのは口座振替をされているからであって、岡山市も口座振替の取り組みをしっかりやっていただきたい。
被保険者１人あたり費用額は、岡山市は政令市の中で３位と非常に高いが、ここについての取り組みはどうなのか。

○河 本 課 長：報告の医療費適正化対策事業のところで説明させていただく。

○高 橋 委 員：岡山市でも実施している子ども医療費の助成制度の対象拡大に伴い、国の国保財政支援に対するペナルティがあると思うが、今後どのような見通しになっているのか。岡山市としてどのような要望をしていくのか。

○河 本 課 長：子ども医療費については、歳入の国庫支出金、県支出金に関わってくる。地方単独事業として、例えば子ども医療費の助成を自治体独自にしている場合、交付額が減額される措置があるが、国の方で見直しをし、今年中に結論を出すという方針が出されている。減額措置については、何らかの措置がなされると考えている。岡山市としては、減額措置を廃止してほしいと国へ要望している。

○時 實 委 員：各政令指定都市の年齢階級別国保加入状況について、各都市の全人口に対する被保険者の比率を教えていただきたい。

○河 本 課 長：次回お示しする。

(1)号議案は採決により原案どおり承認。

『(2) 岡山市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について』

○塩 見 委 員：条例を改正することによる岡山市が受ける影響はどの程度が予想されるのか。

○河 本 課 長：影響額については、すぐにお答えができない。

○則 武 委 員：譲渡所得が入るということは、毎年の確定申告後に分かるということでよいか。それによって保険料は翌年から変わるのか。

○河 本 課 長：保険料については、毎年７月に賦課計算する。今年なら平成２７年中の所得をもとに計算をしている。もし確定申告されたら平成２８年７月の賦課分に反映されることになる。

○則 武 委 員：平成２９年１月１日施行ということは、平成２８年所得の確定申告により、平成２９年７月に保険料が計算されるとの認識でよいか。

○河 本 課 長：そのような計算となる。

○時 實 委 員：平成２９年１月１日施行となると、平成３０年度からではないか。

○河 本 課 長：この改正については、平成２９年から適用する税制改正であるが、平成２８年１月１日からの収入から変更されるため、平成２９年度の保険料から適用される。国民健康保険法施行令は平成２９年１月１日で改正されることとなる。

(2)号議案は採決により原案どおり承認。

（報告案件）

『(1) 収納率向上・医療費適正化対策事業の実績について』

○内 田 委 員：医療費適正化対策事業の中で、これから一番力を入れていこうと思っていることは何か。各事業、力を入れてやっていただきたいが、ここで意見を言うだけでなく協力体制ができればよい。

○河 本 課 長：医療費適正化対策事業について、引き続き説明させていただきましょうか。

○塩 見 委 員：収納率向上対策で、給与世帯に対する対策がのっていないが、対象に給与所得者も加えた対策にしてはどうか。

○長田料金課長：国保は前年所得で賦課をするため、退職されていても前年の給与所得を対象に賦課されることになる。口座振替については、給与所得がある世帯もあるので、今後課題だと思っている。現在給与があって保険料が未納の場合は、（資産状況等によるが）滞納処分ということで公平性をもって対応している。

○塩 見 委 員：若い方が多いのだと思うが、給与があれば口座があると思うので、努力をしてほしい。

○則 武 委 員：退職した後、国民健康保険に入る場合、そこできちっと口座振替にしていく対応をすべきではないか。

○長田料金課長：窓口での国保新規加入時に、口座振替の勧奨を行って、実際に件数も増えてきている。その中で前年度給与所得がある方について、もっと工夫のある勧奨をすることについては、例えば、協会けんぽ等とも連携し、国保に加入する場合は、口座振替をお願いするという広報的なことを連携していき、国保に加入したら口座振替をしていただくような方法を検討していかなければならないと思っている。

○則 武 委 員：名古屋市は高い収納率を維持している。口座振替を含めた収納率対策がどのようにされているのか勉強、検討をしてほしい。岡山市も毎年収納率が上がっているが、もう少し上げていかなければならない。優秀な市町村の状況を把握してほしい。

○長田料金課長：名古屋市は、加入時に口座振替の依頼を強力にしている。
各区役所市民保険年金課の窓口とも連携し、口座振替率を上げていくよう工夫したい。

○則 武 委 員：医療費が高くなっているのは、健診率が低いという状況なんだと思うが、なぜ岡山市は低いのか。各地域において、自分の地区で高血圧、糖尿病が高い地域だと地域の方々の認識があるのかどうか含めて、健康市民おかやま２１の取り組みがもっと市民に行き渡るようにしていかないといけない。運動も、スマートウエルネスシティを掲げてやっているわけだが、受診率が低いことは地域の保健師さん、愛育委員さん含めて市全体として受診率を上げていく取り組みをしていかないと、国保の医療費が上がっていくことになっていく

と思う。全体的な取り組みを関係機関と連携しながらやっていってもらわないと難しいなということを改めて感じた。指導していくのは国保年金課になると思うので、しっかりと取り組みを進めてもらいたい。

○河 本 課 長：特定健診の受診率は、政令市中１２位であり、政令市の平均は約２８％で、岡山市の平成２６年度は２６．８％となっており、政令市の平均の中でも少し低い。特に、力をいれて取り組む必要があると考えている。医療費分析では、地域の特性を出している。例えば、保健師さんが地域に入って健康教育などで活用し、地域の方の意識付け、意識啓発に使ってもらい、地域の方が自分の健康に関心を持っていただくようにしたい。これからも特定健診受診率向上のために様々な施策を講じていきたい。

○内 田 委 員：生活習慣病で入院する人や重大な病気は男性が多いと書いてある。循環器系の病気での医療費が大きな割合を占めている。地域で、例えば高血圧の方に保健師さんが塩分を少なくするという話をしていただくが、男性の出席が少ないのではないか。明らかに医療費は男性の方が多くて、生活習慣病で入院する人の医療費が男性が多いというのは、委員の皆様の男性の協力と啓発も大事だと思う。食生活は女性が関わることが多いと思うが、協力してくださる方の半分は男性がいないとこの数字は良くなっていかないのではないか。

○岡崎審議監：男性の参加というところで、例えば男性の料理教室を地域で実施しているが参加者数は少ないのが現状である。ただ、いろんな形で男性への働きかけ方、健康市民おかやま２１でもそれぞれの地域でいかに男性に働きかけていくかのアイデアを出していただきながら取り組んでいる。今回の医療費分析でも高血圧が医療費、件数とも高く、ここをなんとかしていかなければならない。減塩が大切だと広く知られてはいるが、薄い塩加減ではおいしくないということをよく耳にする。特に働き盛りの男性からはそういった声も多い。
今年度、かるうま減塩プロジェクトとして、軽い塩加減でもおいしい、そうしたレシピを広く募集して、減塩の大切さをアピールしていきたい。減塩食イコールおいしくないとの意識を払拭していきたい。地域のそれぞれの推進委員の皆様でも真に取り組んでいただいているところだが、こうしたお力をお借りしながら減塩対策に取り組んでいきたい。自分自身の体を知ると言うことが、健康につながっていくということで、特定健診を受診すること、かかりつけ医、かかりつけ薬局を持つことなどしっかりと普及啓発していきたい。

○佐 藤 委 員：医療費適正化で重要なことは医療費を抑えることと、健康寿命を延ばすこと、この二つの両立が重要ではないかと考えている。概要の中の２ページの腎不全が岡山市と全国とが特に６５歳以上になってから乖離が激しく、岡山市が腎不全、透析の患者が多いと想像する。腎不全は糖尿病と高血圧が原因で、この高血圧というところも全国平均を上回っている。おそらく岡山の男性の塩分摂取量は全国平均をかなり上回っていると思う。単一因子で寿命に最も影響するのは喫煙、２番目が塩分、高血圧、ほとんどの大病、命に関わる病気はこの２つの因子が大きく絡んでいると言われている。そういう中で、喫煙率を下げる禁煙活動を積極的にさらに進めること、減塩プロジェクトをさらに進めること、それと健診だと思う。岡山市は病気の率が高いのに健診率が低いのはまさに病気の原因であろうと思われる。なぜ、健診率が低いのか、もしかしたら病院がたくさんあるから、いつでも病院にかかれるため、健診を受けなくても良いと思って、結果として病気になってからかかる人が多いのかと思う。長野県とかは予防医学に熱心で平均寿命も高く、高血圧の比率も低いと言われている。
国保の話としては、健診を受けることによって、特典をだしているが、わかりやすいアピールポイントなどがあることがポイントではないか。

○河 本 課 長：糖尿病と高血圧が腎不全の要因となるということで、平成２２年度に実施した医療費分析では、岡山市の最も優先すべき対策を行うべき疾患として腎疾患をあげて、市独自のフォローアップ保健事業を平成２３年度から行った。今回の分析結果では、高血圧対策を重点的に行っていく方向付けをしている。いまおっしゃられた因子への対策として方向付けとしては間違っていないと思っている。フォローアップ保健指導の中に減塩プログラムを取り入れ、具体的には塩分測定器の貸し出しをするなど、意識付けや啓発を進めていこうと考えている。国も糖尿病の重症化予防の取り組みの実施状況によって、インセンティブ事業で交付金を交付する事業を打ち出しているので、総合的に力を入れていきたい。

○岡崎審議監：禁煙対策に関して、健康市民おかやま２１においても、喫煙率の目標を設定している。平成２３年度の現状で１８．１％（男性３１．５％、女性８．４％）であるが、平成３４年度の目標が、禁煙希望者が禁煙をすることによる成人の喫煙率として、喫煙率８％（男性１５％、女性３％）の目標を設定している。禁煙は健康寿命との関連が非常に高いため、岡山市としても、例えば、結核肺がん検診の

検診票の項目の中に「たばこを吸っていますか」という項目は今までもあったが、新たに「禁煙したいと思いますか」という項目を盛り込んで、「はい」と○がついた方には医療機関において短時間でも禁煙に対して指導・支援していただくように、今年の５月「たばこをやめようかなと考えているあなたに」というチラシを作成した。こうしたものを利用して、それぞれ禁煙に取り組みたい方に対して情報提供をし、禁煙につなげていきたい。

○佐 藤 委 員：日本人の男性の平均喫煙率は３０から３１％程度だったと思うが、岡山は少し高いと思う。女性は平均よりも低く、全体の平均も若干低いと思うが、岡山市の場合は、男性が塩分摂取率とか喫煙率とか病気になる率とか高い。男性対策を全てにおいて有効な手段を考える必要があると思う。

○河 本 課 長：そういったところを注視しながら事業を進めてまいりたい。

『(2) 国保財政運営の都道府県化について』

質疑なし

（その他）

○河 本 課 長：当協議会は、公開ということになっており、協議会議事録についても、開示できるので、公開の扱いになっているが、これを市のホームページにアップして欲しいとの要望を受けている。今回の協議会も含め、これ以降、議事録をホームページにアップさせていただくということで、委員の皆様の了解をいただきたい。

○委　員　　異議なし

以上

平成２８年度第１回　岡山市国民健康保険運営協議会　会議次第

日時：平成２８年８月１８日（木）
午後２時～午後４時
場所：岡山市保健福祉会館９階機能回復訓練室

１　開　　会

２　あいさつ

３　議　　事

（１）平成２７年度国民健康保険事業について

（２）岡山市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について

４　報　　告

（１）収納率向上・医療費適正化対策事業の実績について

（２）国保財政運営の都道府県化について

５　そ の 他

６　閉　　会